

「治せる」事実が、患者の信頼を得る・・・

咬合を科学として捉えよう

咬合治療への道

～全身・顔面頭蓋・顎骨・咬合・歯牙・歯周～



私たち歯科医療従事者の職業的使命は何でしょう？

私たちは、従来とは全く違った視点で、咬合を診るようになってから、患者さんのからだ全体の健康に深くかかわっているという臨床実感を日々新たにしています。患者さんの姿勢、表情、歯列、歯牙を観察し、歪みの原因を考察することによって、驚くほどに全身の問題を改善することもできれば、歯だけを診てからだ全体に新たな問題を引き起こしてしまう事もわかりました。

ME機器を使用したエビデンスも使いながら、新たな「咬合」を考えたいと思います。

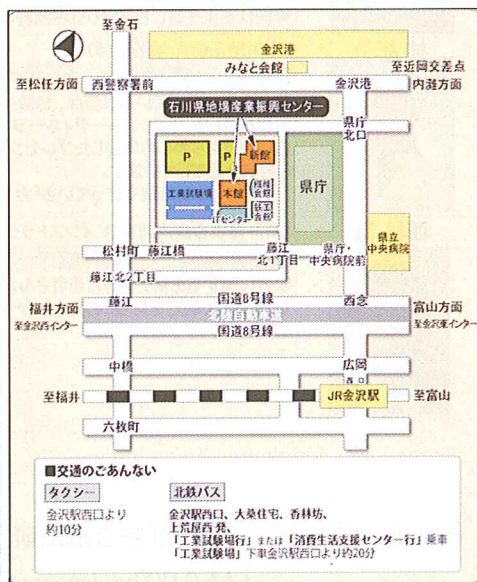
日時：2011年12月4日(日) 9:30～17:00 開場 9:00

会場：石川県地場産業会館 新館 コンベンションホール

石川県 金沢市 鞍月2丁目1番地 Tel 076-268-2010

タイムスケジュール

9:00	開場	
9:30～9:35	開会の辞	上田均 研修会会長
9:35～10:10	咬合療法によくでてくる用語説明と生体の動きを知る	浜野純也
10:10～11:40	口腔の治癒とは 崩壊とは ～40年の歯科臨床から辿り着いた口腔治癒への道～	筒井照子
11:40～12:30	昼食	
12:30～13:20	咬合面形態と咬合の再構成	増田長次郎
13:20～14:10	咬合療法における Medical Electronics機器の有用性	国賀就一郎
14:10～14:40	「力のコーディネーターとしての私の役割について」	林紀子
14:40～14:50	休憩	
14:50～15:40	咬合が見えてくる筒井臨床 治癒の基本—Stomatologyの分類 ～個体差による治癒への方程式～	西林滋 筒井照子
16:50～17:00	質疑応答	
17:00	閉会	閉会の辞「咬合治療への道」担当理事 飯田光穂



車台数に限りがあります。また、構内を路線バスが通行しますので、車でお越しの皆様は、下記の注意事項をお守り下さるようお願いいたします。
 ◎通路での駐停車は、路線バス運行の妨げになりますのでご遠慮下さい。
 ◎繊維・鉄工会館専用駐車場は、私有地につき駐車しないで下さい。

定員・参加費		昼食(お弁当代金は含まれております)	
非会員 (一般)	歯科医師	11,000円	
	歯科技工士/衛生士/コ.デンタルスタッフ	6,000円	
申し込み方法・お問合せ お振込み手数料はご負担下さい			
◎下記参加申込書にご記入の上、明海・朝日大学生涯研修部 北陸研修会 事務局までFAXしていただき、個人名でご入金下さい ご入金確認をもって、受講証(領収書兼)をお届けいたします。 当日は、受講証のみが証明となります。持参し受講下さい。			

募集定員	250名
咬合療法研究会 会員	9,000円
咬合療法研究会 非会員	4,000円
お問合せ 担当 藤田(ふじた)電話は、携帯電話に転送されます	
明海・朝日大学北陸研修 事務局	
Tel 076-248-6982 fax 076-249-5150	
振込先	北國銀行(ほっこく) みどり 支店 普通 286137
名義 明海・朝日大学歯学部生涯研修部 北陸研修会 事務局 藤田雅昭	






主催：筒井塾 咬合療法研究会

後援：明海朝日大学生涯研修部 北陸研修会

「咬合治療への道」受講申込み FAXにて申込み下さい 076-249-5150 (事務局)

お名前 (記載必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員(一般) <input type="checkbox"/> 明海朝日大学歯学部 会員は一般ですチェック要
医院名	<input type="checkbox"/> 歯科技工士 <input type="checkbox"/> コ.デンタルスタッフ <input type="checkbox"/> 歯科関連 (記載必須)
住所	〒 - -
電話 (記載必須)	
ご注意事項	会場内での撮影・録音は禁止とさせていただきます。 明海朝日大学歯学部 生涯研修部(同窓生)は、一般会員です

演者紹介および抄録

<p>筒井照子</p> 	<p>(筒井塾 咬合療法研究会主宰、筒井塾主宰、JACD主宰) みえて来た咬合治療への道 すこやかにエイジングしていただくために 一 歯科界として出来ること一</p> <p>歯科医療とは、病態に陥った原因を探し、取り除き、生体の治療能を引き出しながら的確な修復処置を行い、さらに治療能を高めていくものでしょう。生体を治療に導くには、Stomatology(口腔医学-病態に陥った原因を探し、取り除き、手を貸し、生体の治療能を引き出す)とDentistry(歯科修復学-崩壊した部分を修復することによって崩壊以前の口腔に戻す)のバランスのとれた両論が必要です。「口腔の加齢・崩壊と治療とは」、生体にとって何をしたら崩壊につながり、何を持って治療へのスイッチに切り替える事が出来るのか。多くの重症とされているTMDの患者さん達を通して、昌秀と33年間の臨床の中から得た「口腔治療への道」は、「なんだ、こんな簡単な事だったのか」という思いを強くしています。多くの方にご理解いただければ幸いです。</p>
<p>浜野 純也</p> 	<p>(筒井塾咬合療法研究会 コデンタル支部長) 咬合療法によくでてくる用語説明と生体の動きを知る 筒井照子先生の講演や講習会においてよく出てくる用語や生体の動きがあります。具体的な用語と運動として、筒井先生が提唱されている五大禁忌、ICPとRP、咬筋と側頭筋、正常嚥下・異常嚥下と低位舌、クリステンゼン現象、関節が壊れていく変化、など色々あります。今回はこれらの中の一部である顎関節の運動と関節の崩壊について、五大禁忌の一部を含めて簡単にお話ししたいと思います</p>
<p>増田 長次郎</p> 	<p>(筒井塾咬合療法研究会 インストラクター) 咬合面形態と咬合の再構成 日本人にとって理想的な咬合面形態をしっかりとからだで覚えておくことが、歯冠修復ばかりでなく、プロビジョナルの修正において、咬合調整において極めて重要です。下顎の機能運動と長年の臨床経験から導き出された咬合面形態とはどんなものか、是非知っていただきたいと思います。</p>
<p>国賀 就一郎</p> 	<p>(筒井塾咬合療法研究会 インストラクター) 咬合療法におけるMedical Electronics機器の有用性 咬合療法における力の診査・診断、再評価を行う上で、Medical Electronics(以下ME)機器による解析は、より客観性を持った指標となる。それゆえ、ME機器を臨床に組み入れることによってもたらされる恩恵は大きい。当院では力の静的な評価を咬合力測定器のオクルーザー(GC社製)、動的な評価を下顎運動解析器のナソヘキサグラフ(GC社製)、下顎位の評価を重心動揺計のグラビコーダー(アニマ社製)、加えて硬組織の3次元の形態の評価にCBCT(JMM社製)を用いている。今回は症例を通して、これらME機器の有用性を解説したい。</p>
<p>林 紀子</p> 	<p>(小川矯正歯科 准看護師) 「力のコーディネーターとしての私の役割について」 私が当院で行っている業務は、初診患者への電話応対、初診時診察前における諸説明や矯正装置撤去後における治療経過の説明と治療後の注意点などのトリートメントコーディネーター業務の他、すべての患者資料のパソコン入力とそれらの画像管理などです。カウンセリング時には症例毎に分けあらかじめ準備したプレゼン資料を用いながら「力のコーディネーター」としていかに効果的なカウンセリングを行うか試行錯誤を繰り返しながら毎日過ごしています。今回は、私が当院で行っている「力のコーディネーター」としてのカウンセリング内容の概略についてお話し致します。</p>
<p>西林 滋</p> 	<p>(筒井塾咬合療法研究会 インストラクター) 咬合が見えてくる筒井臨床 咬合に関する主訴を持った患者さんが来院します。過去、筒井臨床を知らない時は、その原因や対処方法もわかりませんでした。それが、「筒井の目」を通して病態を見るとわからなかったことがわかり、治せなかった患者さんが直せる機会が増えました。今回はその一端を発表させていただきます。</p>

筒井塾 関連資料 ・筒井塾「咬合療法研究会」<http://www.22i.gr.jp/>

・J.A.C.D(The Japanese Academy of Comprehensive Dentistry) <http://www.jacd.net/>

出版物【書物・DVD】 ■ クインテッセンス出版

「包括歯科臨床」・「態癖ー力のコントロール」

「イラストで見る筒井昌秀の臨床テクニック」



■ 医歯薬出版

「顔・からだ・バランスケア」



後援：明海朝日大学 生涯研修部 北陸研修会